

『日本の庭』に関連する要素と位置

「北西のはずれには…たいそう
小さなお稲荷さんの石の祠が
立っている。」
※八雲の時代には狐の石像
は祠の前に立っていたが、
現在は横に移動している。



竹垣
「竹と藎草で編んだ垣根
…庭を三分割する境」
※昭和58年修理工事に際して再建



ウメの古木
「縁側のひさしの上までその黒い
滑らかな枝を突き出しているのが、
見事な日本の梅の木である。」



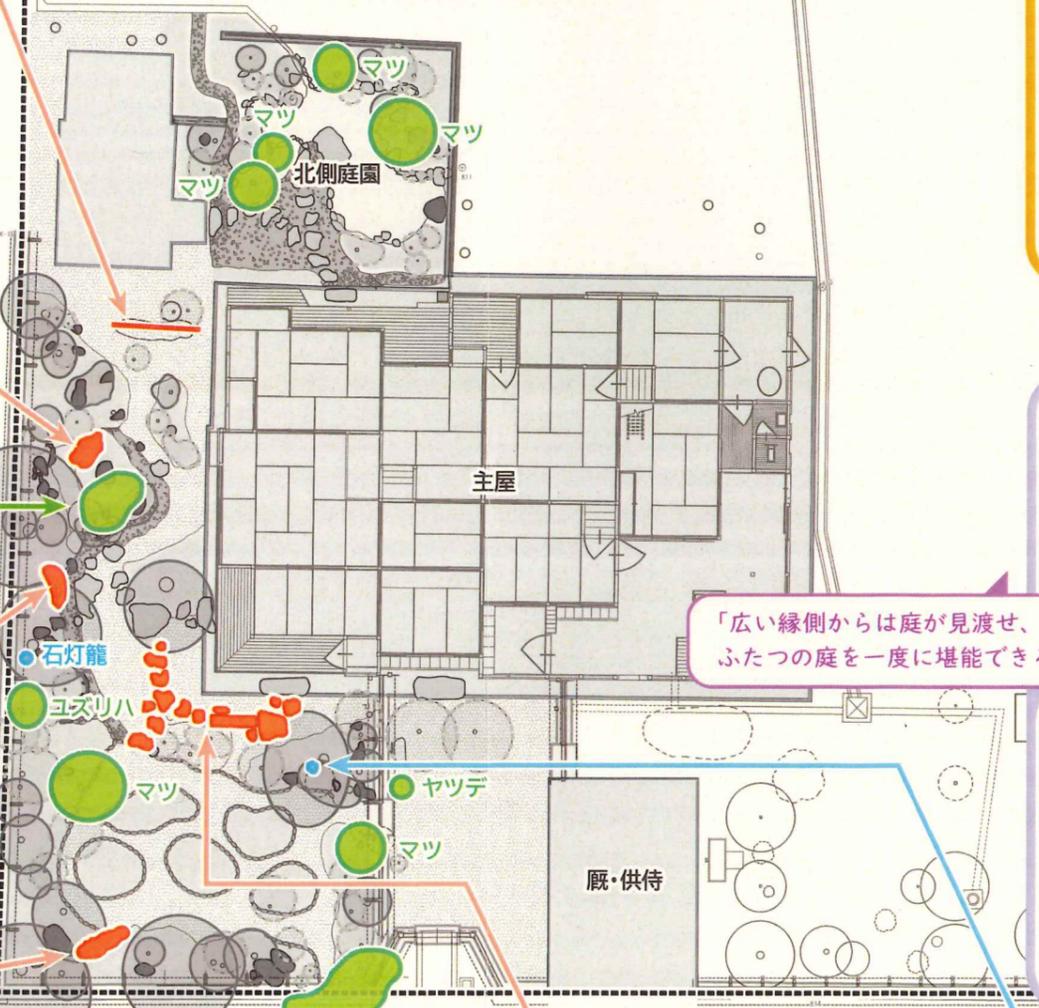
鯰
「城の天守閣に
見られるような鯰」



井戸
「北東の隅には立派な井戸があり、
…氷のように冷たい水が家まで
引かれている。」



「珍しい植物に縁取られた
そのミニチュアの池には、
小さな島が浮かんでいる。」



「我が家の庭にも五本の松があるが、
…実に素晴らしい絵のような枝振り
を見せているのである。」

飛石
「まさに小川を渡るための踏み石の
ように…その上を伝ってあちこち
行けるようになっている。」

石灯籠
「歳月を経て
緑色になった石灯籠」

